

# 九重火山からの二酸化イオウの放出量(4)\*

Emission rate of SO<sub>2</sub> at Kuju Volcano(4)

九州大学理学部附属島原地震火山観測所

Kyushu Univ.

島原地震火山観測所では、1995年10月11日九重火山の噴火以降、同火山硫黄山周辺からの二酸化イオウ放出量を繰り返し測定している。方法はいずれも、噴煙下をCOSPECを搭載した観測車で横切って測定するTraverse法である。前回報告に続き、1997年5月9日に再測を実施した。これまでの測定結果をまとめて、第1表および第1図に示す。

## 参 考 文 献

- 鎌田政明・太田一也(1977) : 桜島火山南岳からのSO<sub>2</sub>放出量, 第2回桜島火山の集中総合観測報告書, 98-104.  
江原幸雄・湯原浩三・野田徹郎(1981) : 九重硫黄山からの放熱量・噴出水量・火山ガス放出量とそれから推定される熱水系と火山ガスの起源, 火山, 26, 35-56.

---

\*Received 8 Aug., 1997

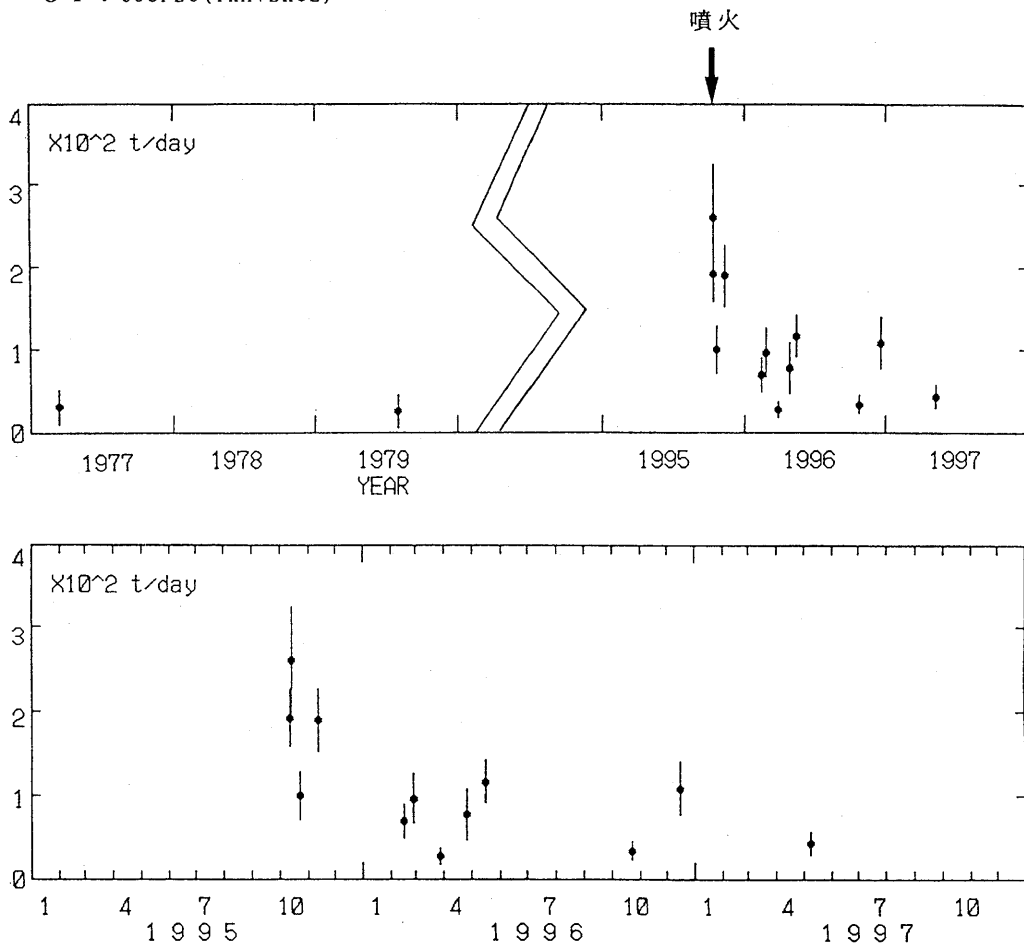
第1表 二酸化イオウ放出量測定値

Table. 1 Measurements of SO<sub>2</sub> emission at Kuju Volcano.

測定日	測定回数	放出量	放出量平均値	標準偏差	測定方法	備考
1977/ 3/14		11~ 53t/day			C P	鎌田・太田
1979/ 7		6~ 57	26t/day		成分比	江原他
1995/10/13	10	143~266	192	34	C T	
1995/10/15	6	165~345	261	64	C T	
1995/10/23	4	61~139	100	28	C T	
1995/11/13	8	154~258	190	37	C T	
1996/ 2/16	10	111~ 43	70	20	C T	
1996/ 2/26	4	66~135	97	29	C T	
1996/ 3/28	8	20~ 47	28	10	C T	悪天候のため噴煙見えず
1996/ 4/26	4	36~122	78	30	C T	
1996/ 5/16	8	73~135	117	25	C T	
1996/10/23	5	23~ 53	35	11	C T	
1996/12/16	6	47~150	109	31	C T	
1997/ 5/ 9	9	12~ 63	44	14	C T	

注) C P : COSPEC(PANNING)

C T : COSPEC(TRAVERSE)



第1図 九重火山における二酸化イオウ放出量の推移

Fig. 1 Variation of SO<sub>2</sub> emission rate at Kuju Volcano.